

## 第 77 回大腸癌研究会 家族性大腸癌委員会 議事録

●日時：平成 24 年 7 月 5 日（木）11:00～12:00

●場所：ホテル日航東京アポロン A

●出席者：（敬称略）

赤木究，赤木由人，新井正美，五十嵐正広，石田秀行，石田文生，上野秀樹，金光幸秀，金沢孝満，隈元謙介，小泉浩一，固武健二郎（代理：松井孝至），小西毅，小林宏寿，菅野康吉，竹之下誠一，田中屋宏爾，富田尚裕，中島健，中村利夫，永坂岳司，松原長秀，松本主之，山口達郎，渡辺聡明

アドバイザー：岩間毅夫，宇都宮譲二，加藤知行，小西文雄，小山靖夫

オブザーバー：石川敏昭，石原聡一郎，浦上尚之，大木進司，岸原輝仁，須並英二，千野晶子，服部稔，檜井孝夫，権藤延久，藤森浩，石橋敬一郎（事務局），小山覚巳（事務局）

### ●議題 1 進捗状況

#### 1) ありかた（将来構想）WG

本委員会における登録に関し，経過，問題点，今後の対応と戦略等について，宇都宮アドバイザーより説明があった。竹之下委員より今後半年以内に，当委員会のあり方について（登録・試料の保存・資料データの保管，保存）検討し，結論を出すことが報告された。

#### 2) FAP WG

上野委員より次回の遺伝性大腸癌診療ガイドラインまでに，FAP の現状についてデータベースを作成し，論文化まですすめることについて説明があった。また，小林委員よりデータベースの原案についての説明があった。

#### 3) リンチ症候群 WG

田中屋委員より，5 月以降の活動（資料 1，2）について説明があった。Lynch 症候群（HNPCC）の多施設症例登録・追跡調査第 3 次研究計画（資料 3）についての説明があった。次回の遺伝性大腸癌診療ガイドラインまでに，論文化を目標とすることの説明があった。赤木(究)委員より，症例論文による登録システム案についての説明があった。

### ●議題 2 ホームページのリニューアルについて

大腸癌研究会 家族性大腸癌委員会 活動要旨についての変更案について石田委員長より説明があり，了承が得られた（資料 4-1，4-2）。

### ●議題 3 FAP の特定疾患申請について

石川委員より，現在，家族性腫瘍学会から申請中であることの報告があった。この経過を本委員会では見守ることにした。

●**議題 4 リンチ症候群に関する記載（大腸癌取扱い規約）の修正について**

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン」発刊にあわせ、現行の「大腸癌取扱い規約第7版補訂版」のHNPCCに関する記載との間に齟齬が生じる可能性が危惧されるため、次回の大腸癌取扱い規約改訂にあたり、当日に行われる規約改定委員会に赤木(究)委員，松原委員，石田委員長が出席し，リンチ症候群とHNPCCの各称の変遷等について説明を加えることが報告された（資料5）。

●**議題 5 その他**

新委員の自己紹介。